

「障がいがあっても、どんな子どもでも、みんな安心して遊べる場づくり」をコンセプトに運営された遊び場が、プレイルームです。青少年ボランティアは、その遊び場の遊具の設営や片付け、案内・来場者の見守りなどをしました。



○ 初めてボランティア活動に参加しました。集合場所に到着した時は、知らない人ばかりで不安や緊張が大きかったです。しかし、活動中少しずつ自分から行動するようになると、周りの人も協力してくれて何をするにも積極性が大切だということを改めて実感しました。今回は障がいをもつ子ども達に参加すると知り、自分が上手に関われるか不安に思っていました。けれど、始まってみると子ども達からも関わろうとしてくれていることが伝わってきて、見習おうと強く思いました。私の行動で子どもが笑顔になってくれたことが一番嬉しかったです。【明治学園中学校 2年】

○ 子どもと接することは、とても大変なことだと改めて感じました。子どもは、ちょっと目を離した隙にこけるなどするので目が離せないなど思いました。ボランティアの準備や運営をするために、保護者の方々やボランティアステーションの方々の協力があるからこそ、私達が活動することができたと感謝の気持ちでいっぱいです。ボランティアは大変そうであり参加する勇気がなかったけど、今回このボランティアに参加することができ、子ども達と接する中でたくさんのパワーをもらい、自分の心が成長できたと思いました。今後、プレイルームに参加したことを活かして、どこの施設も誰かが協力して成り立っていることに感謝しながら活動していけたらいいなと思いました。色々な子どもと接する中で、自分の中で子どもを守れるような仕事について陰ながら支えられる大人になりたいなと思いました。【北筑高校 3年】

○ 今回、障がい者の方もそうではない方も遊ぶことができるプレイルームのお手伝いとのことで、そのようなイベントがあるのだと興味が湧き参加しました。参加する前までは少し緊張していたけれど、実際に取り組んでいくと、スタッフの方々もお客さんも皆さん優しく、楽しく活動できました。子ども達が年齢や性別はもちろん、障がいの有無等関係なく遊んでいる様子を見てとても楽しかったし、このような光景が続いて欲しいと思いました。そのためにも実際に活動に参加した私達が平等に接して、皆が楽しめる環境を作っていくことを大切にしたいと考えています。【八幡南高校 3年】

○ 普段関わることの少ない子どもと触れ合い、子育ての楽しさと少し大変そうな場面を見ることができました。また、子育てをしているお母さんもお父さんも生き生きしているように感じました。今後、看護の実習の小児科などでも活かしていきたいです。【北九州看護大学 1年】

【このボランティア活動は、中学生以上の参加が可能です。】



九州で2チーム目のプロフットサルチームとなったボルクバレット北九州は、2020年からFリーグディビジョンIで戦っています。青少年ボランティアは、ボルクバレット北九州のホームゲームにおいて、運営サポートとして受付や会場整理、案内などの業務を行いました。

○ 初めて会場系のボランティアをしたので、どんなボランティアなのかあまり想像もつかずに参加しました。実際に参加してみると、思ったより大変で運営する側はすごいのだなと思いました。また、私は小中高一貫なため新しい出会いというものがないので、学校の人達ではなく初めて会う人達との共同作業は緊張しました。でも、最後は少しずつ話せるようになり、ボランティアは、人の助けとなるのはそうだけれど、自分自身としてもコミュニケーションを鍛えることができたり、新しい人との出会いがあったりすることに気付きました。今後もっと色々なボランティアに行き、色々な事を学び身に付けられるといいなと思いました。

【明治学園高校 2年】



○ 初めてボランティアに参加したので緊張もあったけど、説明が丁寧で分からないことも優しく教えてくれたので楽しめた。あまり違う学校の人や違う年齢の人と関わることがなかったから、今回のボランティアを通じて関わることができて良かったし、いい経験になった。今までプロの選手の試合をどのスポーツでも観たことがなかったので、フットサルのプロの選手の試合を会場で観ることができたのは、貴重な経験になった。今回のボランティアでスポーツの試合などのイベントのスタッフの仕事について興味をもった。またボランティアをしてみたいと思った。【高稜高校 3年】



○ ボルクバレット北九州ホームゲームのボランティアに初めて参加させてもらい、私は受付のQRコードを読ませてもらう手伝いをしました。そこで感じたのは、たくさんの方が来ていただいて、大きな声で笑顔で対応すると目を見て挨拶してくれたりコミュニケーションをとれたりしたことが嬉しかったです。今後、人と関わるボランティアや仕事をした時は、今日のことを思い出して行きたいです。

【九州国際大学付属高校 3年】



○ 今回のボランティアでは、初めましての学生と同じ活動場所になり最初は不安だったけど、自分から「よろしくお願ひします。」と声をかけることができたので良かったです。ボランティアは誰かのために、自分から行動し楽しむということで、今日も誰かの力になろうと一生懸命活動することができたと思います。自分が楽しんで、ボランティアをできていることが幸せなことだと改めて感じました。休憩時間にボルクバレットの応援ができたのも、とてもいい思い出になりました。【一ツ葉高校 3年】

○ 試合を見させて頂きながら、当日チケット販売をさせて頂きました。お客様が満喫して、試合に観戦いただけるように沢山の所に目を光らせて頑張りました。当日チケットの所では、できる限り早く席につけるように丁寧に対応するように心がけました。これからのボランティア活動では、周りを見て些細な所でも築けるに頑張っていきたいです。【東筑紫短期大学 1年】